

食事会からパソコン教室まで、使い方いろいろのコミュニティサロン

吉原商店街振興組合

機関名	吉原商店街振興組合		
所在地	静岡県富士市中央町1丁目6-16		
電話番号	0545-51-5227		
地域概要	(1)管内人口 24万2千人	(2)管内商店街数	商店街
事業の対象となる商店街の概要	(1)商店街数 1 商店街	(2)会員数	96店(13年6月) 88店(14年11月)
	(3)空店舗 1.5 %	(4)大型店空き店舗	1 件 ヤオハン吉原店
商店街の種類	1.超広域型商店街 2.広域型商店街 3.地域型商店街 4.近隣型商店街		

【事業名と実施年度】

平成13年度 空き店舗対策事業 サロン設置、IT講習、イベント
総事業費 4,689千円

【事業実施内容】

1. 背景

吉原中央駅（バスターミナル）から、岳南鉄道吉原本町に向けての県道沿いに位置し、東西約600メートルからなる商店街で、周辺住民を顧客の中心として、市内第一の中心商店街として親しまれてきた。

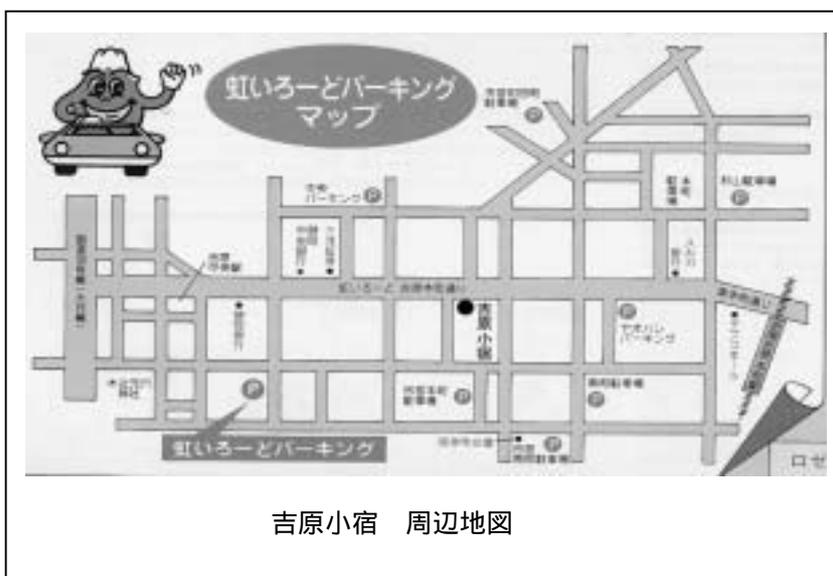
昭和52年に振興組合となり、平成元年にアーケード近代化事業を実施したものの、大型店の郊外立地が進む中、来街者は減少した。

そこで、同組合では、平成8年8月より青年部を中心とし、集客イベント等を開催、現在も継続開催している。婦人部では、各種講習会事業等、婦人部ならではの事業を実施している。

このように様々な商店街活性化に向けた努力を続けているが、富士市内

の商業集積の分極化により競争は激化し、来街客数は急激に減少し、空き店舗が目立ってきている。

吉原商店街の立地条件は、バスターミナルを中心とした集積要素はあるものの、車社会の発達により、現在は、ロゼシアター付近を中心とした郊外型商業地域が集客の中心となって



いる。これからは、地域住民を対象とした商業活動を中心に行っていくこととなる。

このため、地域住民から、安心し、楽しく買物ができると、信頼と愛着が得られる商店街作りに向け、新たな事業展開を計画している。

商店街振興組合では、商店街の現状の問題点と課題、その対策、さらに、今後のあるべき方向について十分に協議し、その上で、平成13年4月に、振興組合にて取得した空き店舗を活用するため、本事業を実施するものである。

本事業は、取得した空き店舗にて、定期的なシルバー交流サロンやIT講習会あるいは展示会などを実施し、高齢者をはじめ、多くの方に、憩いの場、交流・学習の場、文化・情報の発信の場として親しんでいただき、商店街の活性化を図る事を目的としている。

地域密着型の商店街として、高齢化社会の中では特に高齢者が、安心して楽しく買物ができる商店街であることが必要であり、その具体的な対策として、休憩施設の設置、トイレ不足解消、交流・憩いの場の創出を目指す本事業の実施は、必要不可欠なものである。

2. 事業内容

(1) 施設の名称

空き店舗を利用した施設の名称は第1回実行委員会の会合にて、各自が持ち寄った候補の中から選び『吉原小宿(よしわらこじゅく)』に決定した。

(2) 施設の位置・広さ

東西600メートルほどの吉原商店街のほぼ中央に位置する。延べ床面積125平方メートル。間口2.7メートルの3階建て。

(3) 施設の目的・役割

商店街活性化のため、その中心部に来街者のための常設の休憩施設として利用していただくとともに、商店街のイベント会場としても利用することを目的とする。また、パソコン教室や医療相談などの催しを定期的に開くことで、街のコミュニケーション施設としても利用する。

(4) 主なイベント

1) 『吉原小宿』オープニングイベント

平成13年10月5日(金)

オープニング式典

協賛店で「つかみ取り」「つめ放題」「ガラガラ抽選会」などを実施

オープニング広告 B3版広告45,500部を新聞折り込み

2) 「シルバー交流サロン」の開催

年金支給日の来街者にお茶・お茶菓子のサービス

3) パソコン教室の開催～学習の場としての活用(いずれも4ヶ月間の実績)



パソコン初心者コース（6時間コースを16回開講、のべ68名参加）
インターネットコース（4時間コースを7回開講、のべ28名参加）
特別コース（年賀状制作、2時間の講習に3名参加）

- 4) 「無料医療相談」の開催
地元病院の協力により月2回開催
- 5) 『吉原小宿』講習会
「介護」をテーマに2回開催



【 効 果 】

- (1) 大型店やスーパーの撤退及びバスターミナルの公衆トイレ撤去により、来街者が気軽に利用できるトイレが無くなっていったため、本事業により設置したトイレは、土日祝日も利用できる（トイレ・休憩）こともあり、大変喜んで利用されている。
- (2) 無料休憩所としての利用も徐々に浸透してきていて、必要性の高さを実感することができた。
- (3) トイレは弱者に優しい洋式トイレになっており、万が一、気分が悪くなっても緊急プザーがあり、「安心ですね」とご利用いただいた方々からは大変好評を得られた。
- (4) 無料のお茶サービス・コインロッカーなど徐々に浸透し始めている。
- (5) パソコン教室では、当初、受講対象を50歳以上の方に限定した為、高齢者の受講が多かった。パソコンに興味はあるが、困ったときに聞く人がいない・触る機会の少ない方々が、受講していく過程で、“やる気”と“意欲”がみられた。次のステップや「インターネットでデジカメの取り扱い方など教えてください」「自宅でパソコンの練習をし、つまづいてしまった箇所をどうしたらよいか」など先生に真顔で伺って勉強していた。高齢者の方々の気軽な学習の場として、予想以上の反響があった。
- (6) 介護教室では、受講中、講師の先生・受講者・商店主とのコミュニケーションも図られ、笑い声の絶えない雰囲気の中で、受講者も介護者の立場になり、実施に介護の雰囲気を体験した。受講者からは、介護を受ける人・さしのべる人の立場になり、少しでも理解し、分かち合うこと・思いやりをもって人と接することを学んだとても貴重な時間であったと、大変好評であった。

(7) パソコン教室や介護教室の開催により受講者と店主とのコミュニケーションができ、商店街へ来街していただく頻度が高まったように思われる。

【課題・反省点】

(1) サービスやイベントの内容について

吉原小宿は、商店街の中心くらいに位置しているため、今後、商店街の活性化の核となるような方向性を模索していく必要があると思われる。

店主・お客様・地域の方々をつなぐ場として、皆様に親しまれ、癒しの場・広く活用できる憩いの場として定着させていきたいと考えている。

1) 吉原小宿を開設した目的でもあった、休憩所・トイレとしての機能を継続するため、今後も、土日祭日も、利用できるようにしていく。今回、予想以上のお客様に喜ばれ、親しみを持たれた吉原小宿の必要を実感したため、さらに認知度を高め、お客様のニーズを取り入れ、利用しやすい工夫をしていく。

2) 無料のお茶サービス・無料コインロッカーの継続、利用促進をしていく。

3) 展示会・展覧会等を実施する。

4) 「無料医療相談」「シルバー交流サロン」の継続をしていきたい。

5) 各店の情報・商店街のイベントなどの情報発信・お客様の声を収集するための機能の充実を図りたい。

6) パソコン教室の開催により、高齢者の学習意欲の高さ・身近な学習の場の必要性を感じられたため、学習の場としての提供・企画・検討をしたい。

(2) 人的体制について

事業実施中、吉原小宿に商店街事務員が1名常時在勤し、土日はアルバイトにて対応しできるだけ無休とした。事業終了後も、無休としているため、アルバイトの費用は組合の事業費として負担している。

(3) 事業費の確保

組合員の賦課金及び組合にて所有・経営している時間貸駐車場の売上より支出されている。

(4) PR

平成14年度、富士県行政センターから、「高齢者のための給食事業実施」のご提案があり、よしわら食彩サービスと名づけ、吉原小宿にて14年8月10日より開始。

よしわら食彩サービスは、吉原小宿にて毎月10日20日に高齢者の方々が集い、午前中に商店街各店の店主・店員によるミニカルチャー教室のようなものが開催され、出前によりご本人が注文し配達した食事(昼食)を皆で楽しむ。食事代は、各個人が負担。配膳等は、吉原商店街婦人部員が当番制にて対応。ミニカルチャー教室は参加無料、食事をされた方は特典がある。現在まで、延べ約300名近くの方が利用し、大変好評を得ている。

【 関 連 U R L 】

吉原商店街振興組合

<http://www.yoshiwara.net>

富士市

<http://www.city.fuji.shizuoka.jp/>

(富士市役所のオフィシャルページ)

富士商工会議所

<http://www.fuji-cci.or.jp/>



商工会でも「吉原宿かわら版」で積極的に広報した



2001年(平成13年)10月17日(水曜日)

富士ニュース

「富士市」 吉原小宿で年金の日企画 もてなす交流さろん

富士市の吉原商店街振興会、今日(17日)にオープンした「吉原小宿」(2001年10月17日)で、今年初の「年金の日企画」もてなす交流さろんを開催した。当日は、富士市年金事務所の職員を中心に、年金に関する相談や、年金の仕組みについての説明が行われた。また、交流会も開催され、参加者同士で交流を深めた。

交流会では、参加者同士で交流を深めた。また、交流会も開催され、参加者同士で交流を深めた。



お菓子とお茶のもてなしを受ける来場者

News 2001年11月

11月5日 80歳以上の高齢者歓迎の吉原小宿パソコン教室スタート



吉原商店街のオープンスペース 吉原小宿でパソコン教室 年配の初心者がいっぱい学ぶ

吉原商店街のオープンスペース「吉原小宿」で、11月5日よりパソコン教室がスタートした。この教室は、80歳以上の高齢者を歓迎し、初心者向けの講座が行われる。参加者は、パソコンの基本的な操作やインターネットの使い方などを学ぶ。教室は、吉原商店街のオープンスペース「吉原小宿」で開催される。



パソコンの初心者向けの講座がスタート

News 2001年10月

10月5日 吉原小宿がオープン

吉原商店街 吉原小宿 オープン

休憩、交流、学習、文化、情報発信の場として活用

吉原商店街のオープンスペース「吉原小宿」が10月5日にオープンした。この施設は、高齢者や障害者など、様々な人々が集い、交流や学習の場として活用される。また、地域の文化発信の場としても活用される。施設は、吉原商店街のオープンスペース「吉原小宿」で開催される。




施設利用者のためのサービス

新聞などでも報道された